



歯科衛生士養成校での実習の様子
＝神戸常盤大学短期大学部口腔保健学科提供

歯科衛生士の役割

—歴史的変遷と未来

歯科衛生士法が施行されて70年近くが経ち、歯科衛生士は診療現場に欠かせない存在となった。高齢化が進み、疾病構造が変化するなか、期待される役割はますます大きくなっている。歯科衛生士の役割はどのような変遷をたどり、今後どうなっていくのか。神戸常盤大学短期大学部で長年歯科衛生士の教育に従事されてきた野村慶雄氏に聞いた。



野村慶雄 のむら・よしお
1971年、大阪大学歯学部卒業。兵庫医科大学講師(歯科口腔外科学教室)、岡山大学歯学部助教授を歴任し、2008年に神戸常盤大学短期大学部口腔保健学科教授に着任。2017年3月、定年により同職を退官。

歴史的変遷

歯科衛生士はどのようなように生まれ、

日本で歯科衛生士の役割が明確になったのは、第二次世界大戦後。敗戦直後の日本を統治していたGHQが、子どもにむし歯が氾濫していたことを受け、1947年に保健所業務に口腔衛生を設けたことに始まる。その翌年に歯科衛生士法が定められ、歯科衛生士が国家資格として認められた。それまでも「口腔衛生婦」などが存在したが、その役割は明確ではなかった。

歯科衛生士の役割はどのような変遷をたどってきたか

歯科衛生士法が制定された当初は「予防処置」のみが業務として認められていた。「予防処置」といっても薬物塗布以外は、むし歯予防の啓発などが主たる業務だった。保健所に配置された歯科衛生士は、口腔衛生向上に尽力した。しかし、むし歯の罹患率が高い状況下では、一次予防よりも治療が必要だった。これを受け、1955年に歯科衛生士法が改定。「診療補助」が業務に加わった。

診療補助が業務範囲に加わったことで歯科衛生士の活躍の場は歯科医院へと広がった。患者が歯科医院に殺到した当時、円滑に診療を進めるために歯科衛生士の需要が高まっていた。特に61(昭和36)年に国民皆保険制度が導入されてからは、歯科衛生士養成校が飛躍的に増えた(下表)。

その後、生活習慣病であるむし歯や歯周病の予防を進めるため、1989年の歯科衛生士法改定で「保健指導」が業務範囲に取り入れられた。

「予防処置」、「診療補助」、「保健指導」という歯科衛生士の三大業務は、疾病構造の変化とそれに伴う社会的要請によって規定されてきた。

今後求められる役割は

高齢化が進み、生活習慣病や認知症を抱える高齢者への支援体制の構築

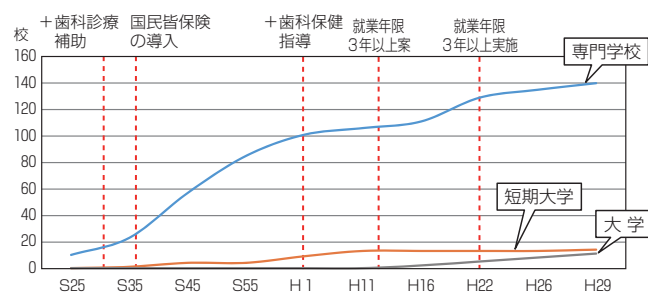
現在・未来

今後求められる役割は

高齢化が進み、生活習慣病や認知症を抱える高齢者への支援体制の構築

正当な評価求め 歯科医師による支援を願う

歯科衛生士養成所数の推移



が急務となっている。

歯科では、8020運動の成果によって、高齢者の残存歯数は増えたが、その分、歯周病の高齢者が増加した。

人口構造、疾病構造の変化に伴い、在宅や介護施設入居者、入院患者に対する口腔機能向上、周術期の口腔機能管理が求められる。

とあるがんセンターでは、外来を持たない病棟専任の歯科医師を配置し、入院患者の口腔機能管理を行っている。その他にも、高齢患者の退院後の口腔機能管理を、歯科医師会を通じて患者の居住地の歯科医療機関に依頼するケースもある。

こういった歯科・歯科連携において歯科衛生士が果たす役割は大きい。

2015年施行の歯科衛生士法改定で「歯科医師の直接の指導の下」の記載が「歯科医師の指導の下」へと変わった。

その狙いは

法改定で、「直接の指導」が要件からはずれ、歯科衛生士の活動条件が緩和された。これは超高齢化社会に対応することが狙いだ。高齢者への歯科からの支援が強く求められており、この改定にとりまらず、入院中や施設入居者の高齢者の口腔ケアを「医師の指示で業務を」といった議論についてどう考えるか

臨床的に口腔内の診断は医師では難しい。歯科軽視などの批判もある。また、診療報酬という限られたパイの中で、患者を奪われるのではないかと懸念もある。

しかし、そもそも問題は、この議論が国民医療向上の立場でなく、医療費削減の手段として進められることだ。超高齢化社会の中で歯科に求められる役割は大きく、歯科衛生士の活躍の場が広がること自体は否定されるものではない。日本の歯科衛生士の活躍の場は世界的に見ても限定的であることは事実だ。

世界との比較

欧米における歯科衛生士の役割と評価は

欧米における歯科衛生士の業務範囲は驚くほど広範に渡る。レントゲンの撮影・読影、局所麻酔、印象採取、抜糸にむし歯・歯周病の診断。歯科衛生士の開業を認めている国もある。

また、社会的な評価も高い。アメリカのいい仕事ランキング2015年版では、歯科衛生士は安定性と年収の高さから5位にランクイン(歯科医師は1位)。アメリカは自由診療制であり、単純な比較はできないが、人気の職業であることは間違いない。

一方、国家資格でありながら、日本の歯科衛生士の就業率は異常に低い。これは社会的評価が低いことに要因がある。歯科衛生士の技術は診療報酬上でも低く抑えられており、待遇も決して良いとは言えない。

欧米と比較しても日本の歯科衛生士の教育水準が低いわけではない。歯科医療の高度化に伴い、2010年からすべての養成機関は3年制以上となり、4年制大学での学部創設も進んでいる。

超高齢化社会で歯科衛生士が果たす役割は大きい。歯科医療の発展と国民医療向上のためにも、正当な評価が求められる。歯科医師には、歯科衛生士の社会的評価向上に向け、支援する立場にあって欲しいと願う。

その狙いは

法改定で、「直接の指導」が要件からはずれ、歯科衛生士の活動条件が緩和された。これは超高齢化社会に対応することが狙いだ。高齢者への歯科からの支援が強く求められており、この改定にとりまらず、入院中や施設入居者の高齢者の口腔ケアを「医師の指示で業務を」といった議論についてどう考えるか

臨床的に口腔内の診断は医師では難しい。歯科軽視などの批判もある。また、診療報酬という限られたパイの中で、患者を奪われるのではないかと懸念もある。

しかし、そもそも問題は、この議論が国民医療向上の立場でなく、医療費削減の手段として進められることだ。超高齢化社会の中で歯科に求められる役割は大きく、歯科衛生士の活躍の場が広がること自体は否定されるものではない。日本の歯科衛生士の活躍の場は世界的に見ても限定的であることは事実だ。

29日出演

メインゲスト
月亭八光、桜 稲垣早希

第40回 保険医まつり

2017年
10月28日(土) 29日(日)

12:00~19:00 10:00~17:00

マイドームおおさか
〒540-0029 大阪市中央区本町橋2番5号

40th
Enjoy Our
Festival

好評につき、またまた開催!

ホンダ 福祉車
アウディ

カーフェスタ
まつり 特別価格!

今年も やります!

展示特売会

※昨年の特売会の様子

忍者になって 手裏剣を投げよう!

忍者体験

40周年特別抽選会

ハズレくじなし!

豪華景品が当たる?!

今年も「食」がアツい!

- ・北海道海鮮弁当
- ・にぎり寿司実演販売
- ・くまもと物産展
- ・すまいるコーナー
- ・縁日コーナーなど

各種セミナーあり

※プログラムは検討中です。変更の可能性もあります。